



<http://www.sappororo.hokkaido-c.ed.jp/>

学校通信 第12号
令和6年(2024年)2月22日発行
発行人 北海道札幌聾学校
校長 四木 定宏
TEL 011-716-2979
FAX 011-758-7617

HPはこちらです↓



安心安全な学校づくりを目指して その2

教頭 柴田 和千代

暦の上では春を迎え、暖かい日も少しずつ増えて、本格的な春の到来ももうすぐといったところ
です。甚大な被害を出した「令和6年能登半島地震」では、未だなお安否不明者をはじめ、住居の倒
壊などで日常を取り戻せていない状況が続いています。一方で、仮設住宅やライフラインの復旧を
はじめ、少しずつ復興に向けた動きも始まっています。被災された方々や復興を支える方々が毎日
懸命に努力して、徐々に日常が戻りつつあります。一日も早い復興を願うばかりです。

さて、前回の学校だよりでは、いじめ対策についてお伝えしましたが、今回は、体罰について触れ
たいと思います。今年度も体罰調査を実施しました。本調査は北海道教育委員会が行っているもの
で、最近では紙による調査回答の他、オンラインによる回答も選ぶことができるようになりました。
先日、北海道教育委員会から今年度の調査結果の報告がありましたが、本校における体罰等の該当
事案はありませんでした。

人を育てる、伸ばす指導について、学校現場だけではなく、私たち大人の世界でも、「叱る」より
「褒める」方が、効果的であると言われています。このことは、アメリカの発達心理学者ハーロック
博士の実験によって証明されており、エンハンシング効果（賞賛効果）と言われます。この実験は、
算数のテストを5日間受け、先生から褒められ続けた生徒の方が、叱られ続けた生徒よりもやる気
が向上し、成績が上がったというものでした。

では、「褒める」方がなぜ良いのでしょうか。私たちも、相手が喜んでくれたことでやる気を出し、
褒められたことでまたやってみようという気持ちになったことがあると思います。また、自分で好
きなことに取り組むことがあると思います。俗に「ハマる」と言ったりしますが、その状態は、心理
学では「内発的動機づけ」が高まった状態であると言えます。「もっとやってみたい」「もっと上手に
行いたい」「やり遂げたい」「もっと知りたい」といった感情が高まれば、自分から取り組もうとしま
す。さらに、この「内発的動機づけ」を高めるためには、「自己有能感」を高めることが重要だと心理
学の世界では言われています。「自己有能感」は、「自分の力で周りの環境や対象を変化させた」と
いう自己認知です。その「自己有能感」を高めるカギが「褒める」ことです。自分以外の人から肯定
的な評価（褒められる）があると、次の行動の力になります。そして、自発的に考えて行動するよう
になります。ここで大切なのは、「褒める方法」です。単に結果やその状態を褒めるのではなく、そ
の結果にたどり着いた過程や努力、頑張りを褒めることが大事です。結果だけを褒められると、気
分が良くなる半面、失敗を恐れる気持ちも生まれると言われています。

子どもたちを取り巻く大人は、普段から子どもたちとの関わりの中で、「褒める」ことを意識して
いると思いますが、「褒め方の質（内容）」や「どのように褒めるか」といった視点で、関わり方につ
いて振り返ってみることも大切ではないでしょうか。

3月予定表

1 日 (金)	2 計測 (幼)	6 年生を送る会 (小)	1 4 日 (木)	卒業式 (中)
4 日 (月)	卒業式練習 (中)		1 5 日 (金)	おわかれ会 (幼)
5 日 (火)	朝会 (小)			終了式 (乳相)
	ALT (小・中)	校内放送	1 8 日 (月)	修了式 (幼)
	卒業式練習 (中)		1 9 日 (火)	卒業式 (小)
6 日 (水)	誕生会 (幼)	卒業生を送る会 (中)		修了式練習 (幼 3・4 才)
	校内放送		2 0 日 (水)	春分の日
7 日 (木)	卒業式練習 (小)	校内放送	2 1 日 (木)	大掃除 (小)
	退舎生を送る会		2 2 日 (金)	修了式 (幼・小・中)
8 日 (金)	修了式練習 (幼)	児童総会 (小)		離任式
	卒業式練習 (中)		2 5 日 (月)	学年末休業
1 1 日 (月)	児童会選挙 (小)	卒業式総練習 (中)		
1 3 日 (水)	修了式総練習 (幼)	大掃除 (中)		
	卒業式総練習 (小)			
	児童生徒 5 校時後放課			



冬の遠足について (幼稚部)

2月8日、年少組はグラウンドの築山へ、年中組は若草公園へ、年長組はバスに乗ってテイネスキー場へ、冬の遠足に行きました。年少組は、そり遊びの後、保護者を交えてスノーチューブでボウリングをしました。ぶつかったペットボトルが次々に倒れる様子を見て、大喜びの子ども達でした。

年中組は家庭から持ってきたチューブやソリを、親子や友だち同士で使って、公園の築山で楽しく遊ぶことができました。暖かい日だったので、親子での楽しい一時を過ごすことができました。

年長組は、お母さんと一緒にバスに乗ってスキー場に行き、キッズパークのゲレンデでスキーをしたり、チューブ滑りをしたりして楽しみました。スキーでは、学校の築山で練習をした成果が十分に発揮でき、上手に曲がれるようになった子もいました。そして、お昼ご飯はロッヂでラーメンやカレーライスを食べました。充実した1日だったので、子どもたちもとても楽しかったようで、「また行きたいね。」と口々に言っていました。

子どもたちのためにご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。(小川)

まめまき (乳幼児相談室)

2月2日金曜日に2歳児グループで「まめまき」をしました。この日は、4人の子ども達が参加しました。

豆まきの紙芝居を読んだり、お面を作ったり、最後は鬼の的にボールを投げて倒して遊びました。

「ドンドン」そして、電気がピカピカになると鬼の登場です。子ども達は、鬼から逃げますが、それでも近づいてくる鬼に泣いてしまいながらも、「おには、そと！！」しっかり鬼に豆をまくことができました。

体も心もぐんぐん成長するたくましい子ども達の姿に、ママ達も嬉しい笑顔があふれていました。きっと、家にも鬼が来たでしょう。何度鬼が来たって、負けずに鬼をたおすぞ！！(牧)